

大使館医務室ニュースレター

大使館医務官 松木孝道

デング熱シーズン到来！備えは万全ですか？



- デリーのデング熱流行シーズンは9月～12月、まさにこれからです。
- 屋内の電気蚊取りの液をチェックしてますか。
- 屋外へは長袖・長スポンを着用し、h虫除けスプレー塗布後にでかけましょう。
- 冷蔵庫下の霜取り水貯め、竹の生垣、古タイヤ、捨てられたペットボトルにボウフラが発生

デングと天狗の違いにまだ迷われている貴女へ

デング熱は天狗熱ではありません。なんだか赤くなりそうだし、怖そうだからと、最初の「デ」を「テ」と発音してしまいそうな貴女、まだインド生活には慣れていませんね。「デング熱に罹ってインドでは一人前」と鼻高々になる必要はありませんが、流行シーズン前に「テ」を「デ」とはつきり言えるようにしてください。

デング熱は1956年にフィリピンで報告されて以来、現在は東南アジア、南アジア、中南米、アフリカをはじめ冬の平均気温が10℃以上の地域に広がっている病気です。tigar mosquitoとも呼ばれるネッタシマカ(Aedes aegypti)が病原体のデングウイルス(arbovirusの一種)を媒介します。(一部ヒトスジシマカも関与します)

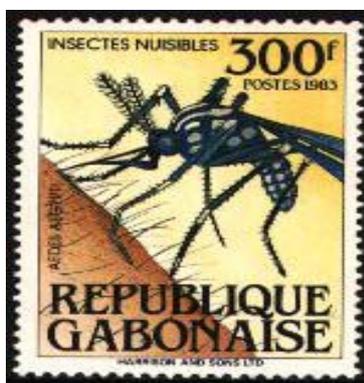
このウイルスを増幅する動物は実はわれわれヒトなのです。(インフルエンザでは豚と鳥ですね。)つまり、デング熱に罹ったヒトを刺した蚊がウイルスに感染し、蚊一ヒト蚊一ヒトと感染を広げていく形態をとります。地域内、家族内感染が多いのはこのためです。

ネッタシマカは屋外だけでなく、住居内に生息します。吸血活動はマラリアを媒介するハマダラカとは異なり、**太陽が出ている時**が主で、その意味では蚊帳は昼寝好き以外にはあまり効果がありません。むしろ、液体電気蚊取りをこのシーズン一日中ONとしておくのが得策です。

デリー市内では1996年10,252名の患者が発生し、432名がこの病気で死亡しました。患者発生数はその後1997年336名(死亡1名)、1998年316名(死亡1名)、1999年184名(死亡0名)、2000年177名(死亡0

名)と減少傾向にあります。Municipal Corporation of Delhiの公衆衛生担当官はボウフラの駆除策が効を奏しているといっていますが、、、、。

一方、今年は東南アジア諸国ではデング熱患者の発生数が例年を上回っています。インドでも**9月以降が本当の流行シーズン**。これから十分な注意が必要です。(デリー着陸前の飛行機内の殺虫剤スプレー散布も無意味ではありません。)



ネッタシマカを图案にしたガボンの切手(1983) ガボンではこの蚊はデング熱だけではなく黄熱病も媒介しています。

さて、デング熱の治療は対象療法だけです、またワクチンもまだ開発中。つまり現時点では「蚊に刺されないこと」が最も重要になります。

デング熱の症状:蚊に刺されて約1週間(5～8日)後、頭痛、目の奥の痛み、筋肉痛(特に背中)、関節痛、倦怠感と共に突如の発熱があります。症状が出てから3～4日後に**赤い斑状の皮疹**が見られることもあります。大抵の人はこのまま1週間以内

に治癒しますが、倦怠感はかなり長く残ります。3～5歳の子供で特に再感染の場合に**デング出血熱**という重症型になることがあります。デングウイルスには1～4型までありますが、異なる型のウイルスに再感染した場合にこのデング出血熱になるリスクが高くなると言われています。

治療は対象療法につきます。補液や血小板成分輸血が必要な場合もありますので、**蚊に刺された後の発熱は単なる風邪と決め付けず**に最寄の医療機関に相談しましょう。□

歯科医院

。施設名
電話番号
住所

Delhi Dental & Orthodontic Centre
電話 625-5918, 2398
C-56 South Extension-II

Swedish Dental Clinic
電話 464-2179, 460-4272
C-118 Defence Colony

Marya's Dental Center
電話 642-5942
E-295 Road No.5
Grater Kalash-II

Dr. Max
電話 646-5253, 5254
B 70 Grater Kalash-I
(金～日)

Dr. Max
電話 632-2433,
17 Eastern Avenue
Maharani Bagh
(月～木)



Dr. Rajeev Seth
笑顔の小児科医

インド医療ガイド出版

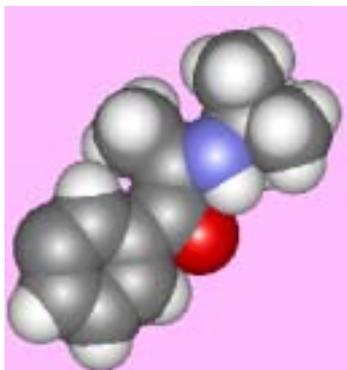
新規着任者用の医療ガイドとして大変便利な本が出版されました。

書名: Travel Health: A Guide For The Indian Subcontinent
出版社: Penguin Books

著者: Dr. Kimberley Chawla

価格: Rs.250

最寄の書店もしくはAARUSHI The Book Shop(TEL 335-7974)でお求めください。頼み方によっては配達サービスもあります。



Bupropion HCLの三次元構造
なんだか効きそうに見えませんか？

デリーのドクター① : Dr. Rajeev Seth (小児科医)

今回からデリーで活躍中のドクターを紹介させていただきます。

まず第一回は小児科医編。小児科医では在留邦人のお母様方にも評判のDr. Rajesh Kumarはじめ小児救急医学が専門のMax MedcentreのDr. Madhumita Sinhaなどお子様を持つ奥様にも頼りになる先生が何人かいらっしゃいますね。

今回ご紹介するのはDr. Rajeev Seth先生。小児科学の中でも特に呼吸器がご専門で、喘息でお悩みのお子様をお持ちのご両親には大変頼りになる先生です。Seth先生はAll India Institute of Medical Sciences卒業後、アメリカのUniversity of Southern California, UCSF, St. Jude's

Medical & Research Hospital, LAで約10年の臨床経験を積み、現在はデリー市内のBatra HospitalのSenior Consultantをしながら、ご自身のクリニックで診療をされています。

お子様にも優しい笑顔で、大変な日本鼻根。一度このニュースレターを持参して訪ねてみてください。

お子様のワクチン接種も可能です。西欧製ワクチンですから安心です。

Residence & Clinic:要予約
E-10 Green Park (Main)
TEL 652-7647, 651-6011
Time: 9:30-12:30(午前)
6:30-8:30(午後)

禁煙薬Zyban®が日本に先立ちインドで発売

愛煙家の台詞に「俺のじい様は一日二箱もタバコを吸いながら90歳まで長生きした。」の類がありますね。確かに喫煙者が必ずしも皆肺ガンで命を落とすわけではありません。しかし、肺ガン胃ガン膀胱ガン、心筋梗塞の有病率・死亡率を喫煙者と非喫煙者と比較すると統計的に明らかに有意な差があります。

愛煙家には「好きなタバコで死んでも構わない」とおっしゃる方も多いと思います。しかし、問題はむしろタバコが原因で死ぬずに生き延びた場合にこそあります。日本人の平均寿命が世界一になり、今では70歳代、80歳台をいかに健康に活力に満ちて過ごすかを考える時代になりました。人生の輝ける晩年に、同年輩の仲間が元気に動き回っているのを横目に、喫煙者は「慢性閉塞性肺疾患」のため痰と咳でゲホゲホ、ゼーゼー言いながら、階段を上ることになります。これいやじゃありませんか。

さて、禁煙補助薬として、日本でもいくつかの禁煙薬が承認発売されています。しかしそのすべてはニコチンをガムなりパッチなりでニコチンを補充する薬です。

このニコチン補充療法では脳内に成立しているニコチン依存(コカインやモルヒネなどの麻薬依存と同じ仕組みです)を立ち切ることができず、やがてまた元のタバコでニコチンを補ってしまうことが多くあります。

一方、欧米では脳内でニコチン依存がおきている部位に直接働き「中毒を断ち切る」薬Bupropion(商品名Zyban:内服薬)が発売されています。この内服薬による禁煙成功率はニコチン補充薬の成績を遥かに上回っています。

インドでも日本に先駆けてこの薬ZybanがGlaxoSmithKline(GSK)社(本社英国)から発売されました。何が入っているか判らないインドの魔法の薬ではなく、欧米の規制当局が安全性と有効性をきちんと審査した薬です。(http://www.centerwatch.com/patient/drugs/DRU261.html)。(実はもう世界80カ国で発売されています。日本はその意味ではインドより後進国なのです。)

インドに生活している間に禁煙を成功させて禁煙先進国の特典を活かしましょう。薬の入手方法、治療法については医務官にメール(taka-m@nisiq.net)でご相談ください。□